

平成14年8月5日

「ドレスナー・ネットワラント」の銘柄が 8月12日より大幅追加！！

インターネット・トレーディング専門証券会社のディーエルジェイディレクト・エスエフジー証券株式会社（代表取締役：國重惇史、本社：東京都千代田区；以下「DLJディレクト」）は8月12日よりドレスナー・クラインオート・ワッサースタイン証券会社（東京支店長：ジャン フランソワ・ミニエ、東京支店：東京都港区；以下「DrKW」）が取り扱う「ドレスナー・クラインオート・ワッサースタイン・ネットワラント」（以下「ネットワラント」）の取扱銘柄を大幅に追加いたします。

4月30日より当初52銘柄で開始いたしました「ネットワラント」の取扱銘柄数を8月12日より100銘柄追加いたします。

今回の銘柄追加は、DLJディレクトのホームページ上でアンケートを取り、リクエストの多かった銘柄を中心に追加しています。

特に日経平均の「プット型」のリクエストが全体の6%と多かったため、日経平均の「プット型」を6種類、「コール型」と合わせて計13種類の日経平均カバードワラントを追加しています。

その他の採用銘柄につきましても、株価が変動した場合に権利行使価格がその株価と近くなるよう、同一銘柄の権利行使価格の種類を多くしています。

また、アンケート結果で、アジア株ワラントの希望が約60%ありましたので、今回の追加の目玉として「韓国200種株価指数」も取り扱うことと致しました。

「韓国200種株価指数」は韓国市場の約80%の時価総額をカバーする代表的な指数となります。さらに「韓国200種株価指数」カバードワラントを取り扱うにあたり、マーケットスピードを初めとした全てのカバードワラント取引チャンネルの画面に「韓国200種株価指数」のリアルタイム配信も併せて開始いたします。

取引は「ホームページ」、「マーケットスピード」や機能を改善して使い勝手が良くなった「iモード」、「PDA」などを通じて行なうことができ、機動的な取引が可能となっています。

DLJディレクトでは「ネットワラント」の追加により「カバードワラント」の商品ラインナップが益々充実すると共に投資家の銘柄選択の幅も広がると考えております。

特に今回は個人投資家に興味のあるアジア関連の銘柄を追加したことにより、カバードワラントに対する知名度の向上と売買の増加、またカバードワラントへの新規顧客の参入を期待するものです。

「ネットワラント」の特徴は以下のとおりです。

国内主要銘柄と日経225指数の「コール型」、「プット型」を用意しています。

株価や指数が上昇した場合に収益が上がる「コール型」、逆に下落した場合に収益が上がる「プット型」の2種類があり、投資家の相場の見通しにより選択していただくことができます。また、「プット型」カバードワラントを活用することにより、現在保有している株式や投資信託の下落リスクをヘッジすることも可能です。

流動性が高く、タイムリーな売買が出来ます。

注文はDLJディレクトを通して、即座にマーケットメーカーに流れ、執行されます。午前9時～午後7時の取引時間中はいつでも売買可能ですから、投資家は「買いたい」「売りたい」タイミングを逃すことはありません。

<カバードワラントとは？>

従来のワラント（新株引受権）が企業の資金調達のために発行されてきたものであるのに対し、カバードワラントは、原資産とは無関係の金融機関などが株式や株価指数などを一定の期日に一定の価格で買い付け、または売り付ける権利を証券化したものです。商品の経済性はオプション取引そのものですが、投資金額が少なく済むため、少額でのハイリスク・ハイリターン投資が可能です。

DLJディレクトは、1999年3月に設立され、同年6月11日よりサービスを開始した日本初のインターネット・トレーディング専門の証券会社です。CSFB*direct* Asia Holdings Inc.、三井住友銀行、インターネットイニシアティブ、住友商事、住友生命保険、三井住友海上火災保険、住友信託銀行が株主となっています。

ドレスナー・クラインオート・ワッサーズタイン（DrKW）は、ドレスナー銀行グループのコーポレート・アンド・マーケット部門に属する投資銀行部門のブランド名です。ドレスナー銀行グループは2001年7月からアリアンツ・グループの一員となっています。DrKWはロンドン、フランクフルト、ニューヨークに拠点を置き、投資銀行部門、キャピタル・マーケット部門を通じて、欧州と世界の顧客に広範な投資銀行の金融商品とサービスを提供しています。